

令和3年度 2学年第1回医学セミナー

- 1 日時 令和3年6月26日(土) 13:00~14:30
- 2 会場 会議室
- 3 講師 茨城県立こども病院 病院長 須磨崎 亮 先生
- 4 参加生徒 2年生医学科進学希望者 43名参加

5 内容

茨城県立こども病院の病院長である須磨崎 亮先生をお招きして、2年生の医学科を志望する生徒向けに、第1回医学セミナーを行いました。演題は「新型コロナウイルスあれこれ」で、世界中で猛威を振るっている新型コロナウイルスに関する話題を分かりやすく説明して頂きました。また、事前に調べ学習を行い、その内容を生徒が発表するなど、活動的な内容も交えてセミナーを行って頂いたため、よく理解することができたという感想が多数見られました。セミナー終了後も多くの生徒たちが先生に質問をするなど、生徒たちの関心の高さが見られ、大変有意義なセミナーとなりました。



以下に参加した生徒たちの感想を一部紹介します。

・今回のセミナーを通して、コロナウイルスやそのワクチンについて深く学ぶことができました。ニュースなどで報道されて知った気になっていましたが、初めて知ったことが多く、話を聞いてもっと勉強したいと思いました。特に、RNA ワクチンは従来のワクチンよりも効果が高く、ワクチンができるまでの時間も短いので、今後も研究が進めば、色々な感染症に対し、有効な手段になると感じました。そうしたワクチンを開発したカタリン・カリコ氏のすごさを知ると共に、私自身もそうした研究ができるように努力していこうと思いました。

・コロナ対策の三本柱「日々の検温、健康チェック」、「手洗い」、「マスク着用」はよく言われていることですが、なぜその三つが大切なのかをきちんと丁寧に説明して下さったおかげで改めて徹底していこうと思いました。また、RNA ワクチンを開発したカタリン・カリコ氏が、他の人に不可能と言われても諦めずに研究を続け、不可能を可能にしたという話はとても興味深いものでした。セミナーを通して、教科書を鵜呑みにせず、常識を疑う視点を持つことの大切さ、粘り強く取り組む姿勢なども学ぶことができました。

二学年第一回医学セミナー
 新型コロナウイルスあれこれ
 茨城県立こども病院 病院長
 須磨崎 亮 先生

